

南平高等学校「上級救命講習」

6月26日（水）・7月8日（月）の2日間、1学年の生徒を対象に「東京消防庁及び東京防災救急協会と連携した上級救命講習」を実施しました。

6月26日に行われた事前講習では、救命等に関する動画を見た後、確認テストを行いました。生徒たちは、胸骨圧迫法等の手順、切れ目のない救命活動（救命の連鎖）の重要性、救命活動をする上での注意点などを学び、それらの知識が身についているかをテストで確認しました。

7月8日は本校の体育館と武道場で、救命活動に関する体験講習を行いました。午前中は人形を用いたAED講習を行い、大人・小児・乳児それぞれの対処法を体験しました。午後は止血法や固定法等について学び、実際に三角巾を用いて結び方を体験しました。

2日間の研修終了後、304名の生徒が「上級救命技能認定証」を受領しました。講習終了後、生徒からは「2分間ずっと胸骨圧迫し続けるのは結構きつかった」「胸骨圧迫で、想像以上に奥まで押すことに驚いた」「聞いているのと実際に行ってみるのとでは記憶の残り方がちがひ、今回の体験はとても価値のあるものだったと感じた」「積極的に行動することで生存率が大幅に上がるのできちんと知識を身につけようと思った」「ずっとこういう講習を受けてみたいと思っていたので、受けられてよかった」などの感想を聞くことができました。

今回の講習は、各クラスの防災係を中心に運営を行いました。防災係の生徒は事前講習の前から円滑な講習ができるよう打ち合わせを行い、2日間の講習中も様々な場面で活躍してくれました。

今回の講習にご協力いただいた日野消防署をはじめとする地域の皆様、ありがとうございました。

今後も様々な体験を通して、生徒が自身や他者を助けられる存在となり、豊かな人生を歩めるよう、防災教育の推進に努めて参ります。